



学校だより

自立真明 Part2

学校教育目標

自立心に富んだ 共に学び合う子の育成

第39号 令和2年3月18日

鯖江市神明小学校
校長 加藤 健二

★令和元年度卒業証書授与式★・・・99名が中学校への巣立ち

17日(火)に、卒業生、保護者、教職員のみで卒業式を行いました。新型コロナウイルスによる感染症予防のための長期の臨時休業で、異例の卒業式になりましたが、級友と久しぶりに再開し、笑顔いっぱい卒業式になりました。卒業生の皆さんのこれからの活躍をお祈りします。



卒業生入場



卒業生証書授与



はげましのことば

今年の冬は記録的な暖冬で、例年より早く春の訪れを感じるこのよき日に、と始めたいところですが、今年には新型コロナウイルスによる感染症予防のため、三月二日から急に臨時休業をすることになりました。小学校生活最後の二週間あまりを登校できなくなり、大変悲しく、寂しい思いをしましたことでしょう。さらに、ご来賓や在校生がいらない卒業式になり、残念で、申し訳なく思います。しかし、そんな中でも、工夫を凝らし、今日ここに保護者の皆様のご列席のもと、卒業生九十九名全員が出席し、卒業式ができることを喜び合い、皆さんにお祝いとはむけのことばを贈ります。

九十九名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが手にする卒業証書は、小学校六年間のすべての学習が終わり、という大切な証です。この六年間のがんばりに胸を張り、本校の卒業生であるという誇りと自信をもって中学校に羽ばたいていってください。

さて、皆さんが大人になる頃は、どんな世の中になっているでしょう。日本では少子高齢化、国際化、そして人工知能AIの進化で、社会がどんどん変化しています。このような社会の変化に対応しながら、皆さん一人ひとりが自分の可能性を最大限に発揮して、幸せな人生を築いていかなければなりません。そのために大切なことを三つお話しします。

一つ目は、挑戦すべき夢や目標をしっかりとつこと。そだての会広報紙に皆さん一人一人の夢や目標が書かれていました。挑戦する夢や目標をもつことで、やる気になり、挑戦が成功すれば自信に、たとえ失敗しても貴重な経験として、自らの力となっていくはずですよ。

二つめは、当たり前のことを徹底して続けること。これまで、「元氣なあいさつをする」、「トイレのスリッパをそろえる」ことを、みんなで取り組んできました。大リーグで大活躍したイチロー選手は、「僕は高校生活の三年間、一日にたったの一分ですが、寝る前に必ず素振りをしました。その一分の素振りを一年三六五日、三年間続けました。これが誰よりもやった練習です。」と、述べていました。「素振りを一分する」という、何でもよいような当たり前のことを続けたことで、大リーグで大記録を達成できる選手になっていったのです。三つめは、人とかかわりをお互いに大切にする。夢や目標を叶えるために努力をしても、思い通りにいかないことや失敗することもあると思います。そんなとき、互いに助け合い、励まし合える友だちはかけがえのないものです。お互いに切磋琢磨するライバルの存在も素晴らしいと思います。

これらのことを心に留めて、幸せな人生を築くために努力してください。最後になりますが、保護者の皆さま、お子さまのご卒業おめでとうございます。立派に成長した姿に、感慨もひとしおのことと思います。また、この六年間、本校の教育活動にご理解とご支援をいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

そして、卒業生の皆さん、この日を迎えることができたのは、家族をはじめ、たくさんの方々のお陰です。そんな全ての人々への感謝の気持ち忘れないうください。これからの皆さんの活躍をお祈りして、はなむけのことばとします。

令和二年三月十七日

鯖江市神明小学校長 加藤 健二



はなむけのことば



卒業生 旅立ちの歌「正解」

★市教育委員会「励ましのことば」・・・自らを信じ、一生懸命努力を

今年の卒業式は、ご来賓がいらっしゃらない中で行われました。例年、市教育委員会から「励ましのことば」としてご祝辞をいただきますが、今回は印刷していただきましたので、ご紹介させていただきます。

卒業式教育委員会祝辞「励ましのことば」

桜の蕾もふくらみかけ、春の気配が漂う今日のよき日、歴史と伝統に輝く、鯖江市神明小学校の卒業式に臨み、鯖江市教育委員会を代表して、励ましのことばをお贈りします。本日、栄えある卒業式を迎えられた卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今日の皆さんの立派な姿に、皆さん一人一人が本校において成長を重ね、自分の力を大いに伸ばしてこられたことがよくわかり、喜びにたえません。

新たな門出に立つ皆さんの巣立ちを祝して、二つのことを励ましの言葉として贈ります。一つめは、夢や目標を実現するために、自らを信じ、一生懸命、努力をしてほしい、ということです。

昨年の秋、日本中に感動と希望をもたらしてくれたラグビーワールドカップでの日本代表の活躍は、皆さんの記憶に鮮明に残っていることでしょう。日本代表の予選第2戦、世界ランク2位で、優勝候補の一角である強豪アイルランドとの対戦でのことです。試合前の日本代表のミーティングで、監督は選手たちに次のような言葉を贈ったそうです。「誰も日本が勝つと思っていないし、接戦になるとも思っていない。誰も僕らがどれだけ厳しい練習を重ねてきたのか、そしてどれだけの犠牲を払ってきたのか知らない。勝利を信じているのは僕たちだけ。」試合結果は十九対十二で日本の逆転勝利となり、世界に衝撃を与えました。試合後のインタビューである日本の選手が、「監督の言葉の通りになったと思います。」という内容の話をしています。チームのだけれども、自分自身を、そしてチームメイトを互いに信じていたからこそ、歴史的偉業を成し遂げられたのです。また、そう信じ切るためには、たゆまない努力の積み重ねもきつと欠かせないものなのでしょう。

皆さん自身が志を胸に抱きそれを成し遂げようとするとき、道は平たんではなく、自分には他人と比べて才能や運が足りないのではないかと迷いが生じることがあると思います。才能や運ももちろん必要です。しかし、このラグビー日本代表のように、周囲からどのような評価を受けようとも、自らの信念と、それを実現させるために重ねる努力を疑わない強さも同じくらい大切なのだと思います。また、そうする皆さんのまわりには、どんなときも必ず応援してくれる、友達や家族がいることを忘れないでください。

二つめにお伝えしたいことは、「ふるさと鯖江」を大切に思っしてほしいということです。鯖江市は『住みたくなるまち・住み続けたいくなるまち「SABAE」』を目標に掲げ、元氣あふれるまちづくりに努め、その取り組みは全国でも大変注目されています。

「美しい自然に恵まれた、暮らしやすいまち」さばえ。

「地域をあげて、ものづくりに取り組んでいるまち」さばえ。皆さんが、この「ふるさと鯖江」を愛する心を持って、成長されることが、私たちの願いです。

最後になりましたが、保護者の皆様には、慈しみ育ててこられたお子様が、このように立派に成長され、栄えある卒業式を迎えられたことに対し、心からお祝い申し上げます。

そして本校の教職員の皆様には、教育活動に専念され、大きな成果を上げてこられたこと、初等教育の大切な時期の子供たちを温かく指導されたことに対し、敬意と感謝の意を表す次第であります。また、御列席をいただきました来賓の皆様には、日ごろから、本校教育の充実発展のために、御支援をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。

卒業生の皆さんが、立派な中学生になられることをお祈りするとともに、神明小学校並びに御列席の皆様、御発展と御健勝を心から祈念し、教育委員会励ましの言葉といたします。

令和二年三月十七日

鯖江市教育委員会



受付でコサージュ



そだての会 記念品



お祝いのメッセージ



卒業生代表の言葉



卒業式後の教室



卒業生から歌のプレゼント



6年生担任お礼の言葉



思い出の写真



卒業証書を手に学級毎に



卒業生から歌のプレゼント



6年生担任お礼の言葉



学び舎との別れ